

# WINDS CAFE 333 in 原宿

## 【Nowhere, Somewhere (どこでもない、どこか)

### ～フランツ・カフカ没後 100 年に寄せて～】

2024年9月29日(日) 14時開演

カーサ・モーツァルト

主催：川村龍俊

#### ▼プログラム

高橋悠治：「長谷川四郎の猫の歌」

1. 序 2. 猫の歌 3. おかし男の歌
4. 白鳥の歌 5. あさのまがりかどの歌
6. 間奏曲 7. 花火の歌

鈴木治行：「口々の言葉」

中ザワヒデキ：歌曲「順序」第一番、第四番

(詩：松井茂)

「二声の五十音カノン」

G.クルターグ：「カフカ断章」(抜粋)

高橋悠治：「カフカノート」(抜粋)

- 1, 4, 8, 14, 16, 22, 24, 25, 33, 34, 35, 36

出演：工藤あかね (声、ソプラノ)

松岡麻衣子 (ヴァイオリン、ヴィオラ)

松平 敬 (声、ピアノ)

クルターグ：カフカ断章 (訳：工藤あかね)

#### 第1部

11. 1910年7月19日曜日 (子守うたII)

寝た、起きた、寝た、起きた、  
寝た、寝た、起きた、起きた、  
惨めな生活

12. 僕の耳

僕の耳の感触は、ぴちぴちしていて  
ごつごつしていて、つめたくて  
みずみずしい 木の葉みたいだ

13. あるとき僕は、脚の骨を折った (ハシド派の踊り)

脚の骨を折ったことがあるけれど  
人生最高の経験だったよ

#### 第3部

5. 惨めな生活 (繰り返し)

寝た、起きた、寝た、起きた、  
起きた、起きた、起きた、起きた、  
惨めな生活

6. 仕切られた輪

仕切られた輪は  
純粹無垢

9. 隠れ家 (繰り返し)

隠れ家はいくらでもあるけれど  
救いの場所はただひとつ  
でも、救われる方法は  
隠れ家と同じくらい数がある

#### 第4部

5. 豹たち

豹たちが聖堂に押し入って  
祭壇の壺から水を飲み尽くす  
これが何度か繰り返されると  
しまいにはいつ来るか分かるようになり  
典礼の一部となる

8. 月夜が僕らを明るく照らした

月夜が僕らを明るく照らした  
小鳥は木々の間で声呼びかわし  
野はざわめいた  
僕らは土ぼこりにまみれ  
一對の蛇みたいに這いまわった

#### 速報!!

高橋悠治「カフカノート」全曲演奏

2025年3月14日(金)

トーキョーコンサーツ・ラボ

歌・語り：松平敬、工藤あかね

ピアノ：篠田昌伸

詳細後日